

令和6年度

木更津飛行場周辺騒音
測定結果について

環境部環境政策課

1. 測定概要

- (1) 目的 木更津飛行場を離着陸する航空機の騒音を測定し、その影響を把握すること
- (2) 期間及び場所 令和6年6月20日（木）から6月27日（木）
（6月24日（月）は機器の故障により欠測）
江川総合運動場 木更津市江川959-1
- (3) 調査概要 1週間（7日分）の騒音の測定
- (4) 測定項目 騒音レベル、画像データ（4Kカメラ）
- (5) 測定者 日本音響エンジニアリング株式会社

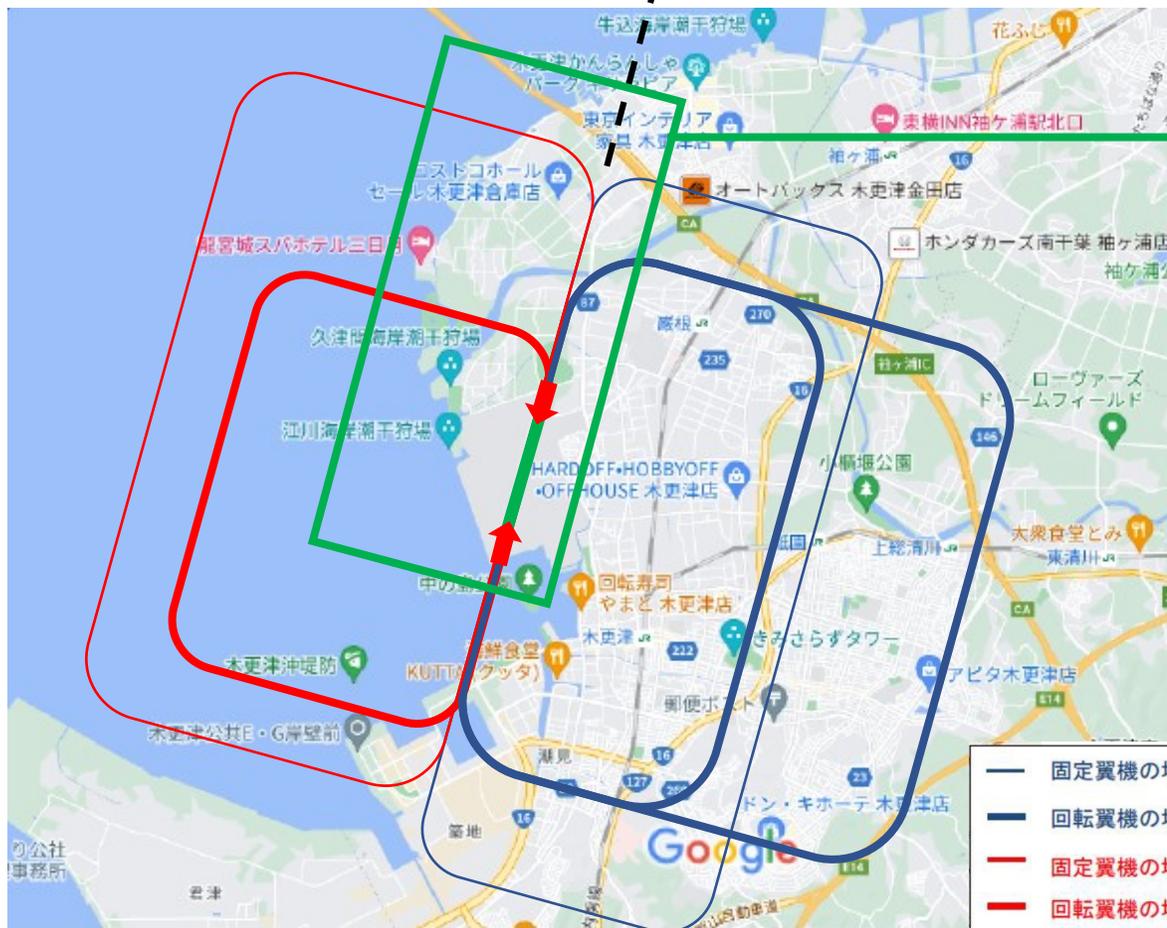
(6) 飛行経路と測定箇所

場周高度(西側)
 回転翼機: 800ft (約240m)
 固定翼機: 900ft (約270m)

西側場周

東側場周

場周高度(東側場周)
 回転翼機: 1400ft (約420m)
 固定翼機: 1400ft (約420m)



- 固定翼機の場周経路(東側場周)
 - 回転翼機の場周経路(東側場周)
 - 固定翼機の場周経路(西側場周)
 - 回転翼機の場周経路(西側場周)
- ※小型ヘリコプターを除き、原則として西側場周を使用



2. 航空機騒音に係る環境基準

環境基本法第16条第1項

- (1) 人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準として、
環境省が告示にて地域の類型と基準値を設定
- (2) 類型をあてはめる地域の指定は、**都道府県知事が行う**



木更津市は市内全域（木更津飛行場を除く）が千葉県知事により地域の類型は「I」、
類型に伴う基準は57db以下と定められています。

地域の類型	該当地域	基準値 (Lden)	測定場所
I	都市計画法で定める住居地域、市街化調整区域など	57デシベル以下	○
II	// 商業地域、準工業地域	62デシベル以下	✕

3. 騒音測定の結果について

(1) 環境基準との対比

【測定結果】

			騒音発生回数(回)					騒音発生時間(秒)		最大騒音 レベル(dB)	平均騒音レベル(LAeq)(dB)				Lden (dB)
			0:00~ 7:00	7:00~ 19:00	19:00~ 22:00	22:00~ 24:00	合計	累計	平均		0:00~ 7:00	7:00~ 19:00	19:00~ 22:00	22:00~ 24:00	
令和 6年度	20日	木	1	57	3	0	61	1,388	22.8	86.1	26.6	60.5	41.9	—	57.5
	21日	金	0	40	0	0	40	838	21.0	96.4	—	62.8	—	—	59.8
	22日	土	0	19	0	0	19	325	17.1	94.9	—	62.3	—	—	59.3
	23日	日	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
	24日	月	機器故障のため欠測												
	25日	火	0	103	34	0	137	2,539	18.5	95.3	—	67.3	60.5	—	65.0
	26日	水	0	24	6	0	30	540	18.0	83.6	—	52.5	40.4	—	49.7
	27日	木	0	64	14	0	78	1,486	19.1	92.5	—	59.8	38.7	—	56.9
		合計	1	307	57	0	365	7,116	—	—					—
		平均	0.14	43.86	8.14	0	52.14	1,016.57	19.50	—					59.40
R5	合計	0	338	68	0	406	9417	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	0	48.3	9.7	0	58	1,345.29	23.2	—	—	—	—	—	—	58.0
R4	合計	2	206	0	0	208	5,141	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	0.29	29.4	0	0	29.7	734.43	24.7	—	—	—	—	—	—	47.7

▪ R4は新木更津市漁業協同組合久津間支所の11月測定データより

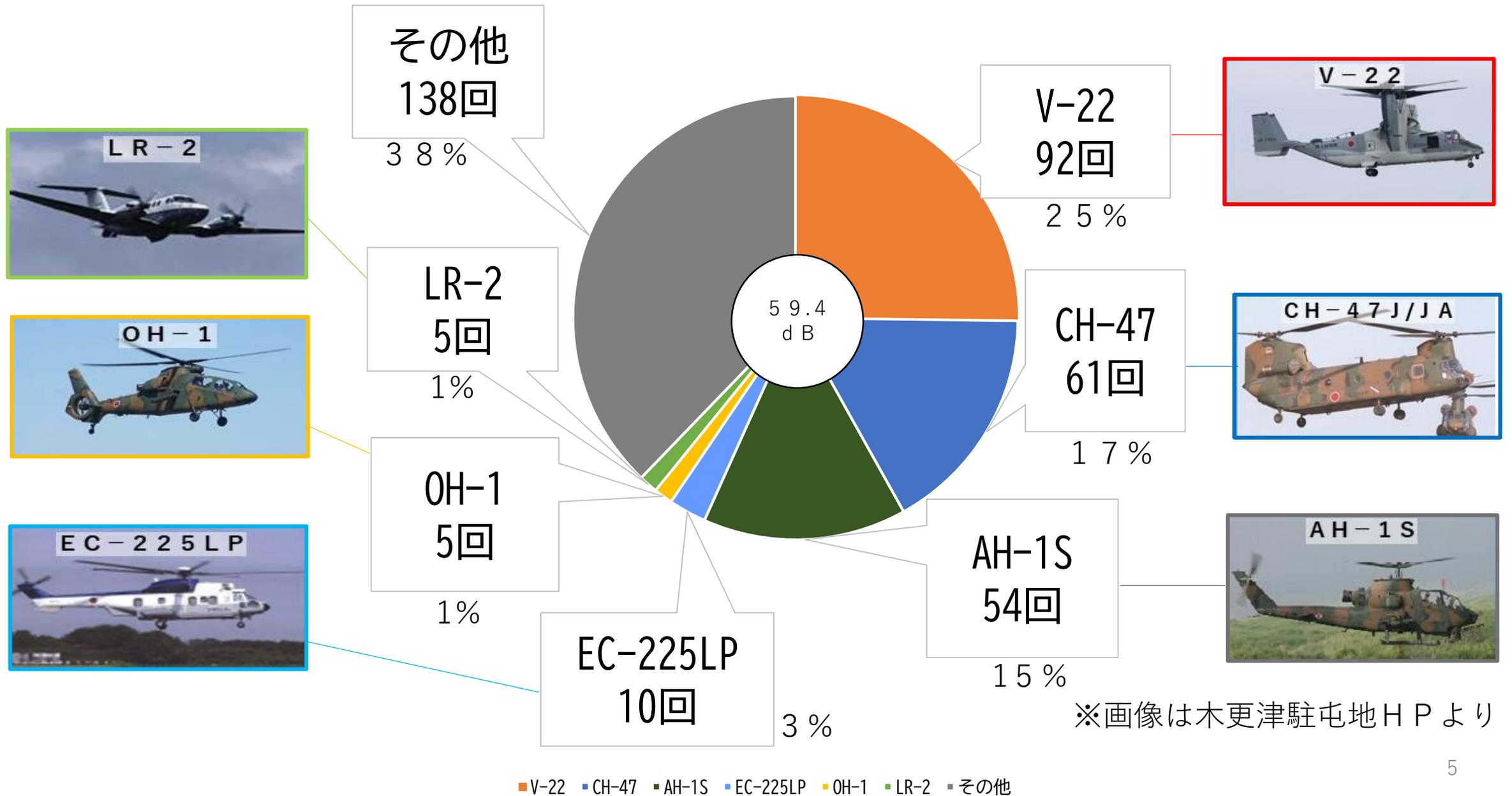
>57dB (環境基準)

▪ R5は江川総合運動場の6月測定データより

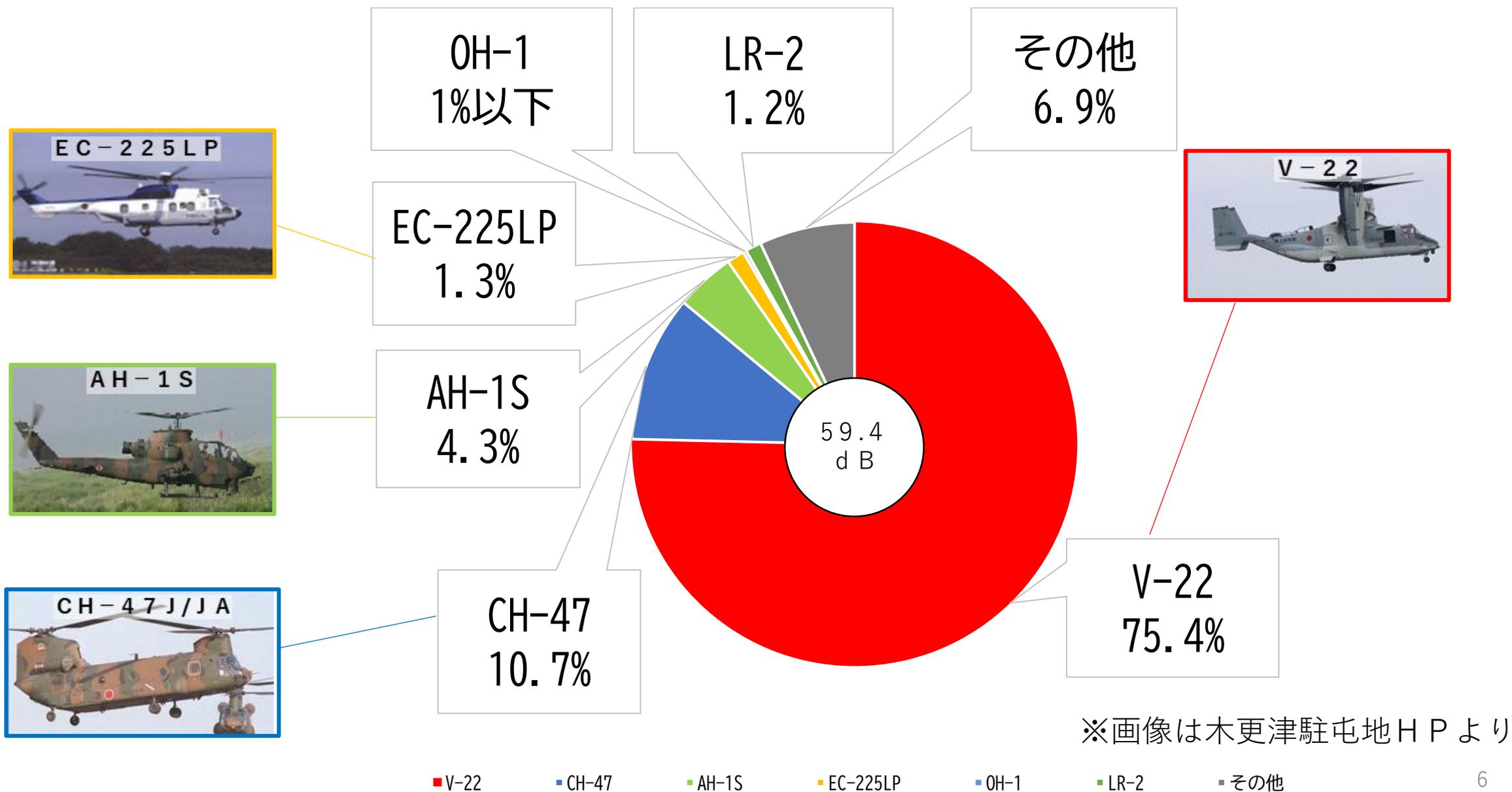
▪ Lden … L_{AE}を24時間でエネルギー平均したもの。

なお、環境基準と比べる際は1週間以上の平均値を用いる。

(2) 機種別騒音発生回数と割合



(3) Ldenの機種別寄与度



4. 木更津飛行場のオスプレイ 暫定配備状況と今後の騒音予測

	暫定配備数	
前回調査時(令和5年6月)	14機	
令和6年6月 5日	15機目	
令和6年6月 7日	16機目	
令和6年6月19日	17機目	【暫定配備予定17機】

本年度調査は、令和6年6月20日(全機配備後)以降に測定しました。
このため、今後の騒音の測定結果に大幅な差異は発生しないものと思われま